

## こまばの暮らし

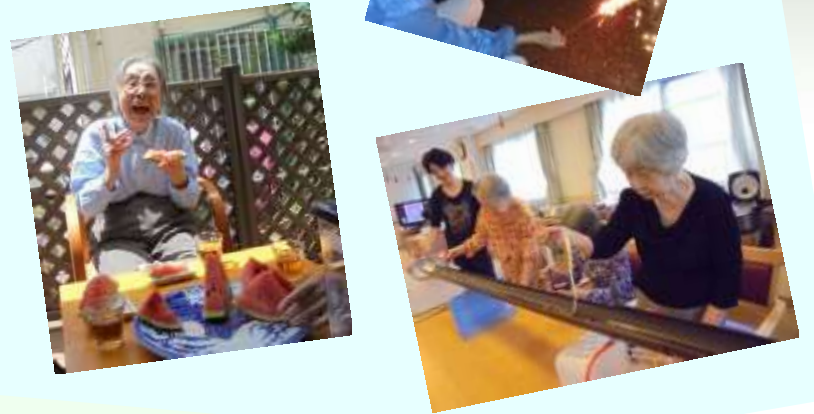
### 関係性を築く

ご利用者同志の関係性を大切にしています



### 季節感を大切に

季節感を肌で感じられるようにしています



### 地域に根づく

地域の方をお招きしたり地域に出ていったり、地域との交流を続けています。



### 個別ケア

個別に 出来ること  
したいことを行って  
頂きます



## 職員インタビュー

### こまばのこの人



芳川 直子 (よしかわ なおこ)

平成28年4月 介護福祉士専門学校に通いながら  
パート職員として入職

平成29年4月 専門学校卒業と同時にフルタイムに変更  
民間企業や病院など様々な経験を経て介護の世界へ。  
仕事以外でも地域での福祉活動に情熱を燃やしています。  
元気いっぱい、バイタリティにあふれる人です。

#### ○ 介護を始めたきっかけは？

両親をガンで亡くした事がきっかけです。父の闘病生活を7年間支えた母は、その後、自身もガンになりました。母がガン末期の際に、介護保険サービスを利用して在宅復帰させました。自宅で母を看たことで、母が食べたい時に自由に欲したものを食べられた事などの喜びがあり、それを実現できた事は誇りに思っています。疼痛管理が難しく最期は病院でしたが、治療だけじゃない人の支え方に魅力を感じてこの世界に入ろうと思いました。「介護」って色々できるなあって。

#### ○ 介護の楽しさってどういうところですか？

「すべての経験が役に立つ」事です。私の職歴は沢山ありすぎて履歴書の枠をはみ出す程です(笑)。歯科や病院での経験はもちろん、「娘」だったこと・「母」であること…等、経験から導き出せる事は多い。現場では、職員でありながらも「娘」になったりしています。

○最高ですね。前年度は介護福祉士の専門学校に通いながらアルバイトとして勤務されていましたが、今年度から改めて常勤の有期職員となりました。グループホームこまばで実現したいことはありますか？

学校では、常に「根拠を持って」と学びました。人が人を支えるので感性は大切です。でも、ホーム全員でケアを行なっていくにはそこに根拠が必要だと考えます。「認知症ケア」を根拠を持って行い、伝えられるようにしたいです。

#### ○自己PRがあればどうぞ。

自分が生まれ育った地域で、「ココロのふれあいさろん おむすび」という名称で生きづらさを抱えた子供から高齢者までの居場所づくりを月に1回主催しています。1日のオープン時間の中で、地域包括と共催で認知症カフェの時間帯があり、その後は民生委員さんと一緒にこども食堂の時間帯がありと、共生ケアを目指し活動をしています。